

# 奈良・平安のライバル三大対決

もくじ

監修のごとば(多田統二)・本書の特徴

時代の主な出来事

この巻の主な登場人物たち

旧国名地図

2  
6  
8  
10



時代の流れをつかもう! ①  
物語を読む前に...知っておきたいこんな人!

天武天皇

12

第1話

長屋王×藤原不比等

13



時代の流れをつかもう! ②  
物語を読む前に...知っておきたいこんな人!

藤原良房

46

第2話

菅原道真×藤原時平

47



時代の流れをつかもう! ③  
物語を読む前に...知っておきたいこんな人!

白河天皇

80

第3話

平清盛×源義朝×後白河天皇×崇徳上皇

81



時代の流れをつかもう! ④  
物語を読む前に...知っておきたいこんな人!

建礼門院(平徳子)

114

読めばもつともつと歴史がよくわかる!

あとがき(新津英夫)

著者紹介

事項・人名さくいん

主な参考文献・資料

115  
120  
121  
122  
126

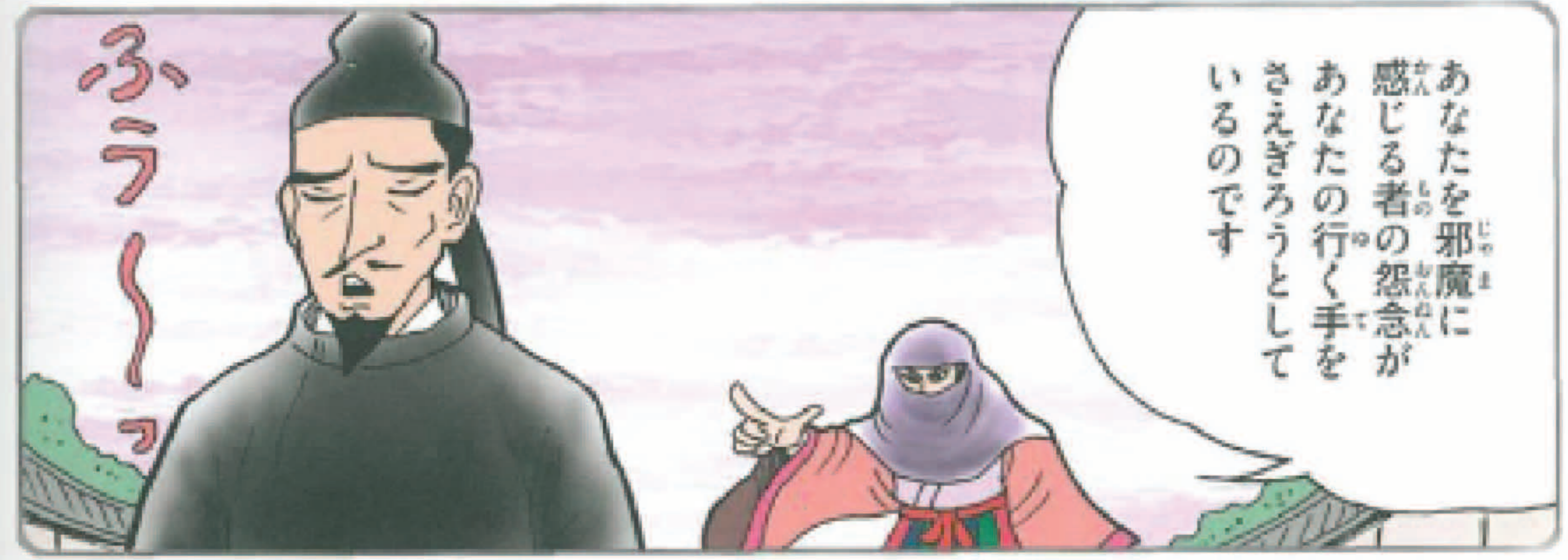
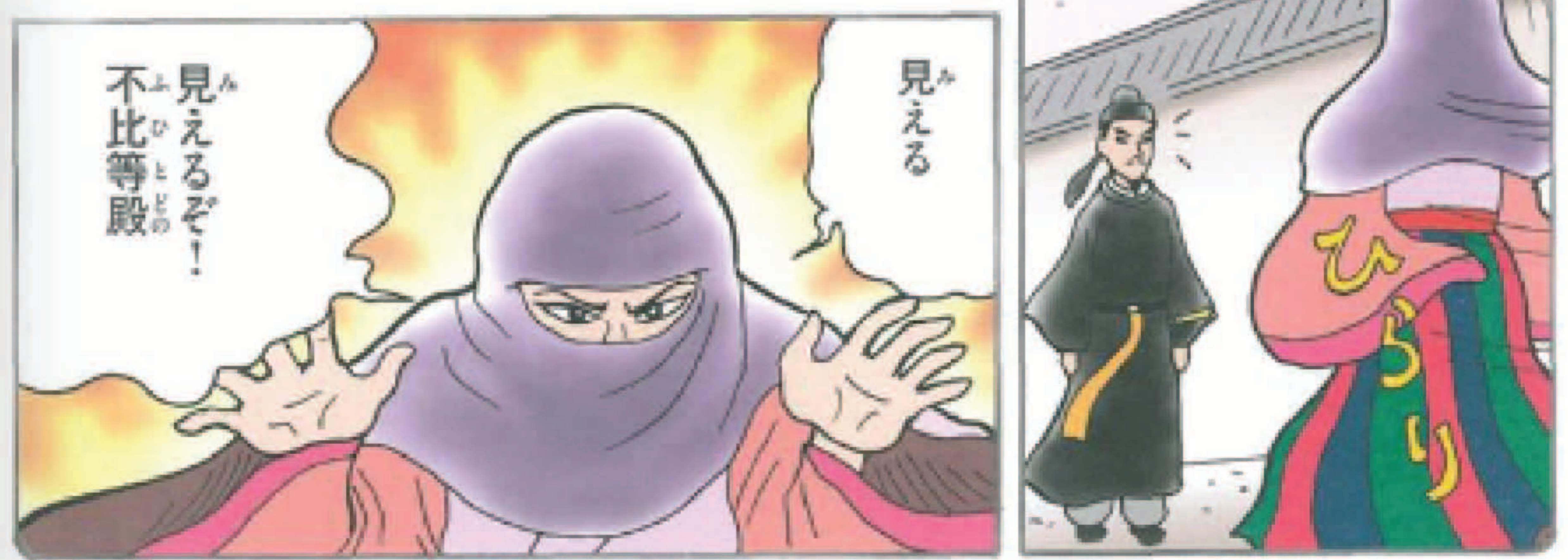
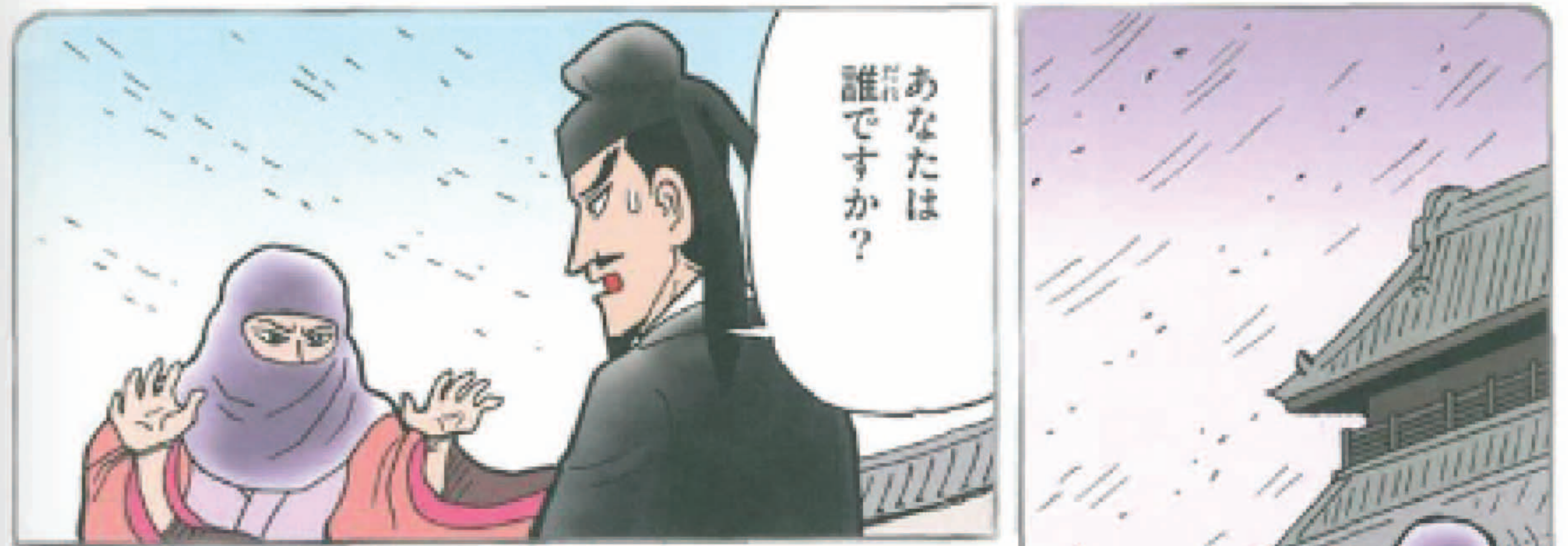




高市皇子…六五四?—六九六年。大海人皇子(のちの天武天皇)の皇子。壬申の乱で父とともに活躍。長屋王の父。  
藤原京…六九四—七〇年に置かれた日本の都。現在の奈良県。日本初の本格的な都で、広さは四方が約五・三キロメートルともいわれる。



長屋王…676?—729年。天武天皇の孫で、高市皇子の子。皇族として力をふるい、聖武天皇の時代に左大臣となるが、藤原不比等の死後、敵対する不比等の四人の息子に無実の罪を着せられ、自害した。



藤原不比等…659—720年。中臣(藤原)鎌足の子。大宝律令制定や平城京(奈良県)遷都にかかわる。娘の宮子を文武天皇に嫁がせ皇太子(聖武天皇)の祖父となり、のちに娘の光明子を聖武天皇に嫁がせ天皇家との関係を強めた。



● 遷都：国の都を別の場所へ遷すこと。ここでは、飛鳥浄御原宮から藤原京へ都を遷した。  
 ● 藤原武智麻呂：六八〇―七三七年。不比等の長男。藤原四家の一つ「南家」の開祖。  
 ● 藤原原前：六八一―七三七年。不比等の次男。藤原四家の一つ「北家」を起した。北家はのちに、藤原四家の中でもっとも栄える。



肝に銘じておくのだ……  
 人間の欲の深さを……



おまえにもじきにわかる……



あとのことはたのんだぞ

父上!!



それはどういうことでしょうか？



六九四年に藤原京に遷都してからまもないころ、不比等と長屋王がおたがいをどれだけ意識していたかは定かではない

父上——っ!!



だが二人はのちに運命の歯車により政治の中心となる地位にまでたがいのほりつめる  
 それが悲劇のはじまりだった……



元氣よく育ててくれよ  
 子は宝なのだから



不比等の邸



亡くなった父もわたしが生まれたときに同じようなことを考えていたのだろうか

● 藤原宇合：六九四―七三七年。不比等の三男。「式家」の開祖。  
 ● 藤原麻呂：六九五―七三七年。不比等の四男。「京家」の開祖。  
 ● 藤原宮子：？―七五四年。不比等の嫡女。文武天皇の妻となり、首皇子（のちの聖武天皇）を生む。  
 ● 藤原長媛子：生没年不詳。不比等の嫡女。長屋王の側室となる。